

様式第9

循環型社会形成推進地域計画目標達成状況報告書

地域名	構成市町村等名	計画期間	事業実施期間
英田圏域	美作市、西粟倉村	平成29～令和3年度	平成29～平成30年度 平成31～令和3年度（事業なし）

1 目標の達成状況  
(ごみ処理)

指 標		現状 (割合※1) (平成27年度)	目標 (割合※1) (令和4年度) A	実績 (割合※1) (令和4年度) B	実績B /目標A
排 出 量	事業系 総排出量	2,911 t	2,841 t (-2.4%)	1,982 t (-31.9%)	1329%
	1事業所当たりの排出量 (※2)	1.9t/事業所	1.9t/事業所 (0.0%)	1.4t/事業所 (-26.3%)	-%
	家庭系 総排出量	5,587 t	4,939 t (-11.6%)	5,863 t (4.9%)	-42.2%
	1人当たりの排出量 (※2)	183kg/人	173kg/人 (-5.5%)	216kg/人 (18.0%)	-327%
	合 計 事業系家庭系総排出量合計	8,498t	7,780 t (-8.4%)	7,845 t (-7.7%)	91.7%
再生利用量	直接資源化量	532 t (6.3%)	498 t (6.4%)	367 t (5.8%)	-500%
	総資源化量	2,138 t (25.2%)	2,012 t (25.9%)	1,377 t (21.6%)	-514%
エネルギー 回 収 量	エネルギー回収量 (年間の発電電力量)	5,718GJ ( - )	5,181GJ ( - )	2,813GJ ( - )	-
最終処分量	埋立最終処分量	98t (1.2%)	70 t (0.9%)	82 t (1.3%)	-33%

※1 排出量は現状に対する割合、その他の指標は排出量に対する割合

※2 1事業所当たり、1人当たりの排出量の算出に用いた令和4年度実績の事業所数は1,388事業所、人口は27,156人である。

※3 令和3年度経済センサス活動調査結果より、美作市1,298事業所、西粟倉村90事業所

2 各施策の実施状況

施策種別	事業番号	施策の名称等	施策の概要	事業実施期間 (事業計画期間)	施策の実績「実施主体」
発生抑制、再 使用の推進に 関するもの	11	有料化	指定袋制を継続しつつ処理手数料の適正化を図る。	H29～R3	「美作市」 指定袋制を継続し、ごみ処理量の推移等を検討し、料金を設定している。 また、資源ごみは指定袋ではなく市販の袋で排出し、また各ステーションに専用コンテナを設置し、資源ごみの無料回収を実施している。
					「西粟倉村」 指定袋制を継続し、ごみ処理量の推移等を検討し、料金を設定している。 また、資源ごみは指定袋ではなく市販の袋で排出し、また各ステーションに専用コンテナを設置し、資源ごみの無料回収を実施している。（美作市に準じている。）
	12	広報啓発	広報誌、ホームページの充実、啓発イベントの開催。	H29～R3	「美作市」 広報誌に、隔月にごみの出し方の記事を掲載している。また、美作ケーブルテレビに、ごみの出し方の番組を作成依頼し放映し、文字放送においても同様に啓発を実施している。美作市ホームページ上にも、ごみの分け方のパンフレットを掲示し啓発している。
					「西粟倉村」 告知放送、広報誌で発生抑制などの啓発、ホームページの更新。

施策種別	事業番号	施策の名称等	施策の概要	事業実施期間 (事業計画期間)	施策の実績「実施主体」
発生抑制、再使用の推進に関するもの	13	環境教育	学習資料提供施設見学、出前講座を実施するなど環境教育の充実。	H29～R3	「美作市」 施設見学を積極的に受け入れている。 また、老人会や社会福祉協議会でのサロン活動にクリーンセンターの見学を組み込み、施設見学を実施している。施設見学に合わせ、ごみの出し方の講習や、環境学習を実施している。 地域の集会等にも参加し、出前講座などを実施している。 市内小学校の環境教育の一環として、クリーンセンターの見学を実施している。小学4年生の環境学習として、施設を見学し、環境学習を行っている。
					「西粟倉村」 NPO団体によるエネルギー及び環境をテーマとした「環境教育」を実施している。
	14	買い物袋持参運動	買い物袋持参・過剰包装は断るなど、減量化に向けての啓発活動を行う。	H29～R3	「美作市」 ノーレジ袋デーを設定し、チラシや美作市ホームページなどで、マイバック持参を促し、レジ袋の減量化を実施している。
					「西粟倉村」 村内小売店と協働して年2回のマイバッグ運動を実施している。
	15	多量排出事業者への減量化指導	事業系ごみの減量化を図る。	H29～R3	「美作市」 事業者へ向けてのごみ分別チラシを作成し、個別に指導や啓発を実施している。
					「西粟倉村」 木工加工及び製材業者から排出される製材端材をバイオマス燃料として利用推進している。
	16	生ごみ処理機器等の購入に対する補助金交付	生ごみ堆肥化装置の普及率を増加させるため補助を行う。	H29～R3	「美作市」 生ごみ処理機の普及が進んだため、平成24年度より補助事業を実施せず、代わって生ごみを排出する際の水切り等、生ごみの減量化についての啓発を行い、生ごみの減量化を図っている。
					「西粟倉村」 生ごみ処理器及び生ゴミ堆肥化装置購入補助を実施している。

施策種別	事業番号	施策の名称等	施策の概要	事業実施期間 (事業計画期間)	施策の実績「実施主体」
発生抑制、再 使用の推進に 関するもの	17	ごみステーションの改良に対する補助金交付	ごみ収集の円滑化推進のため改良に対する補助を行う。	H29～R3	「美作市」 ごみステーションの設置に対する補助事業を実施し、ごみ収集の円滑化を図っている。ごみステーション改良の補助は、新設、改良、合併、改修について、補助を実施し、ごみ収集の円滑化を図っている。 また、平成27年度より補助要件を見直し、緩和することによって、補助対象者の拡大を図っている。
					「西粟倉村」 ゴミステーション改良に対する補助を実施している。
	18	資源回収事推進団体に対する報償金交付	報償金の継続及び実施推進。	H29～R3	「美作市」 資源回収団体に報奨金を交付し、地域における資源回収事業の実施を後押しし、ごみの減量化と分別意識の向上を図っている。
	19	情報提供	広報誌、情報無線等を利用した情報提供	H29～R3	「美作市」 広報誌や、告知放送機器、美作ケーブルテレビ、美作市ホームページなどにより、分別方法やごみカレンダーの配布などの情報を提供している。 「西粟倉村」 広報誌及び告知放送により定期的な情報提供を実施している。

施策種別	事業番号	施策の名称等	施策の概要	事業実施期間 (事業計画期間)	施策の実績「実施主体」
処理施設の整備に関するもの	1	最終処分場	設置整備事業	H29～H30	「美作市」 平成31年3月 美作最終処分場完成
その他	41	廃家電及びPCのリサイクルに関する普及啓発	家電リサイクル法に基づく処理の普及啓発	H29～R3	「美作市」 ごみの分け方出し方ガイドブックに別頁を設け、詳しく出し方の啓発を実施している。また、美作ケーブルテレビ内でも、同様の啓発を実施している。
					「西粟倉村」 地区環境衛生委員を対象として家電リサイクル法に基づく処理方法の勉強会を実施している。
	42	不法投棄対策	監視指導の強化、広報活動等による啓発	H29～R3	「美作市」 環境衛生協議会の活動として、監視の強化を実施し、また、看板等作成し、啓発を実施している。
「西粟倉村」 定期的な不法投棄監視パトロールを実施。重点箇所においては、監視カメラの設置を行っている。					
43	災害時の廃棄物処理に関する事項	災害廃棄物処理計画を踏まえた体制整備	H29～R3	「美作市」 災害時に備え人員、設備体制づくりを行った。また、災害廃棄物処理計画を策定し、災害時の人員配置やごみ処理方法、市民へのごみ排出方法の伝達方法などを周知して、災害への備えを行っている。	
				「西粟倉村」 災害廃棄物処理計画の策定準備をしている。	

### 3 目標の達成状況に関する評価

#### ○排出量

排出量は、目標7,780 tに対し、実績7,845 tであり、目標を達成できていない。今後も排出抑制策の継続が必要である。家庭系1人当たりの排出量をみると、目標173kg/人に対し、実績216kg/人であり目標を達成できていない。今後も排出抑制の継続が必要である。

1 事業所当たりの排出量をみると、目標1.9t/事象所に対し、実績1.4t/事業所であり目標を達成できている。

#### ○再生利用量

直接資源化量（目標498t/年に対し、実績367t/年）及び総資源化量（目標2,012t/年に対し、実績1,377t/年）ともに、目標を達成できていない。資源化量が減少した要因としては、特に紙系資源が大きく減少が考えられる。

#### ○最終処分量

最終処分量は、目標70 t/年に対し、実績82t/年であり、平成27年度と比べ削減できたものの目標を達成できていない。

#### (都道府県知事の所見)

家庭系排出量、再生利用量、最終処分量について、目標を達成していなかった。目標を達成できなかった項目についてはその要因を分析し、改善計画書にある改善策により引き続き排出量の削減や再生利用に努めることとされたい。